

～保護者向けパンフレット～

家庭で育てる「準備教育」～子どもの未来を整える力～

はじめに

「準備教育」とは、子どもたちが未来を見通し、必要なことを前もって整える力を育てる家庭教育の一環です。これは学力だけでなく、生活力、自己管理能力、そして非認知能力（社会性・感情のコントロール・忍耐力など）を育てる大切な学びです。

なぜ準備教育が必要なのか？

現代社会では、「予定を立てる」「見通しを持つ」「必要なものを事前に整える」といった力が求められています。子ども時代からこうした力を育てることで、以下のような力が身につきます：

- ・忘れ物が減る
- ・時間に余裕が持てる
- ・心の安定につながる
- ・自信がつく

家庭でできる準備教育のヒント

- ✓ 翌日の持ち物を一緒にチェックする（夜のルーティン化）
- ✓ 天気予報を一緒に見て、服装や傘の準備を考える
- ✓ 予定表やカレンダーを家族で共有する
- ✓ スマホやタブレットの充電習慣を育てる
- ✓ 自分の“心の電池”にも気づかせてあげる

成長が見える「ふりかえり」の習慣

日々の準備がうまくできたかどうか、親子でふりかえる時間を持ちましょう。

「今日は何ができた？」「次はどうする？」といった声かけが、子どもの自信と考える力を育てます。

よくある保護者の声とアドバイス

1. Q.すぐに忘れてしまいます...

→ 繰り返しと視覚化がカギ。リスト化して冷蔵庫に貼るなど工夫しましょう。

2. Q.怒ってしまいがちです...

→ 責めるより「次にどうすればうまくいくか」を一緒に考える声かけを。

3. Q.続きません...

→ 「できた日」をシールで記録し、週末にちょっとしたご褒美を用意するのも効果的です。

まとめ

準備教育は、将来にわたって役立つ“生きる力”を育てるための第一歩です。

今日から少しずつ、楽しみながら取り入れてみましょう。お子さまの成長を、家庭から一緒に応援していきましょう。